個人質問

ふれあいバス路線の見直しとデマンドタクシー、子宮頸がん等の公費負担と地域活性化について問う

公明党　鯨井　眞佐子

ふれあいバスについて

問　ふれあいバス路線の見直しとデマンドタクシーの導入を望むが、その取り組みは如何か。

市長　今回の見直しにつきましては、現実的に増発等は不可能な状況にあり、乗降調査や利用者アンケートなどを実施し、市民の皆様から改善要望の多かった点について実現可能なものから改善を行います。デマンドタクシーは自宅から目的地まで乗り合いで運行する交通手段であり、その運行につきましては現時点では考えておりませんが、デマンドタクシーの機動性も無視はできないものと思われますので、今後ふれあいバスのあり方を含め、検討したいと考えております。

市民の健康を守るために

問　子宮頸がんは、ワクチンの接種により予防できる唯一のがんであり、公費助成を望む。また、肺炎は日本人の死因の第4位で、毎年10万人以上の方が肺炎で亡くなっており、その95％が65才以上の方である。死亡率は高齢になるほど高く、命を落とす怖い病気である。肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を望むが取り組みは如何か。

市長　この子宮頸がん及びヒブワクチン・肺炎球菌ワクチンの接種は任意接種であり、行政が実施者となる定期接種とは異なるものです。全国市長会関東支部においては、3種類のワクチン接種を定期接種として位置付け、国の負担で一律に接種が受けられるよう要望することを5月21日に緊急決議したところであり、今後の国の動向を踏まえつつ、検討していきたいと考えております。

地域活性化について

問　各種イベントに「落花生の街」とのネーミングを入れては如何か。

市長　落花生の宣伝・普及については、本年度は「ゆめ半島千葉国体」が開催されますので、それに関連したイベントに参加し、PRをしたいと考えております。今後も様々なイベント等に参加し、市特産品の普及・宣伝に努めてまいります。

問　現在8月後半に、けやきの森にて夏まつりが1日だけ行われているが、この夏まつりを楽しみにしている市民も多く、2日間に望むが如何か。

市長　以前は土曜、日曜の2日間の開催でしたが、夜間の防犯上の問題等により、平成16年から1日の開催となりました。2日間の開催については、現時点では難しいと考えておりますが、商工会議所にも、要望については申し伝えます。

個人質問

道路問題および過去に検討事項とされた問題の現状について問う

やちまた21　加藤　弘

道路問題について

問　市民の多くの方から「道を歩くのに身の危険を感じて怖い」という言葉を伺っているが、生活道路のスピード規制について伺う。

市長　市では、今年2月24日付で佐倉警察署を通じて千葉県公安委員会に交通規制として37カ所の要望をしており、そのうち5路線を減速するよう規制の要望をしております。なお、交通規制に関しましては、道路沿線の方々が、その規制形態に理解をいただく必要があり、市ができる対策として注意看板等の設置をしております。

問　私道に対する砂利の支給について伺う。

建設部長　一般的には、私道については砂利の支給をしておりませんが、公共性の高い私道で区や自治会等からの要請があれば支給をしていきます。

問　バイパス用地の買収状況及び今後の予定について伺う。

市長　八街バイパス街路事業部分の用地買収については既に完了しており、現在JR総武本線をまたぐ橋梁工事に伴うクレーン設置部の地盤改良を実施しております。その後、県道千葉八街横芝線から県道成東酒々井線までの約1・5キロメートルのうちの一部について、平成23年4月に供用開始予定です。道路事業部分については、本年3月末の用地買収率で約86％であり、そのうち県道成東酒々井線から国道409号の間については約90％です。

問　国道409号から五区の萬来商店の間の道路排水について伺う。

建設部長　東吉田にある調整池の方に流す計画でおります。

過去に「今後の検討」とされた問題について

問　平成16年9月に市政に関する「出前講座」の開講を望んだが、その後の状況と対応について伺う。

市長　本年度4月から「八街の歴史・文化財出前講座」を実施しておりますが、今のところ市政全体をメニュー化し、制度化するまでは考えておりません。

問　平成16年12月に防災行政無線の難聴地域の対策について伺ったが、その後の状況と対応を伺う。

市長　現在の設備は老朽化も進み、デジタル化の検討も要することから、新たな子局の整備は難しいと考えられますので、難聴地区の対応については機器の音量調整等による対応を考えております。